

第10回 相原駅東口まちづくり検討会 会議要旨

場所：堺市民センター ホール

日時：2016年5月17日（火曜日） 19時00分～20時15分

出席者：地権者等：23名

町田市	都市づくり部	須原都市整備担当部長
	地区街づくり課	平本課長、加藤係長、秋葉、船岡
	建設総務課	日比野係長、町田担当係長
	道路整備課	荒木係長、北原係長、市川担当係長

コンサルタント：(株)住宅・都市問題研究所 平井、小倉

<次第>

1. 議事

- (1) 開会
- (2) 東口アクセス路のルートについて
- (3) 意見交換
- (4) 閉会

1. 議事

(1) 開会（須原部長）

相原駅東口まちづくり検討会は本日で10回を重ね、昨年、アンケート調査や個別ヒアリングなどをさせていただきまして、「道づくり」だけではなく「まちづくり」として検討を進めることができたという認識をしております。本日は、一番の懸案であります駅東口アクセス路につきまして、市の方針を皆様にご報告させていただくために伺いました。また、今後の進め方などにつきましても併せてご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

(2) 東口アクセス路のルートについて

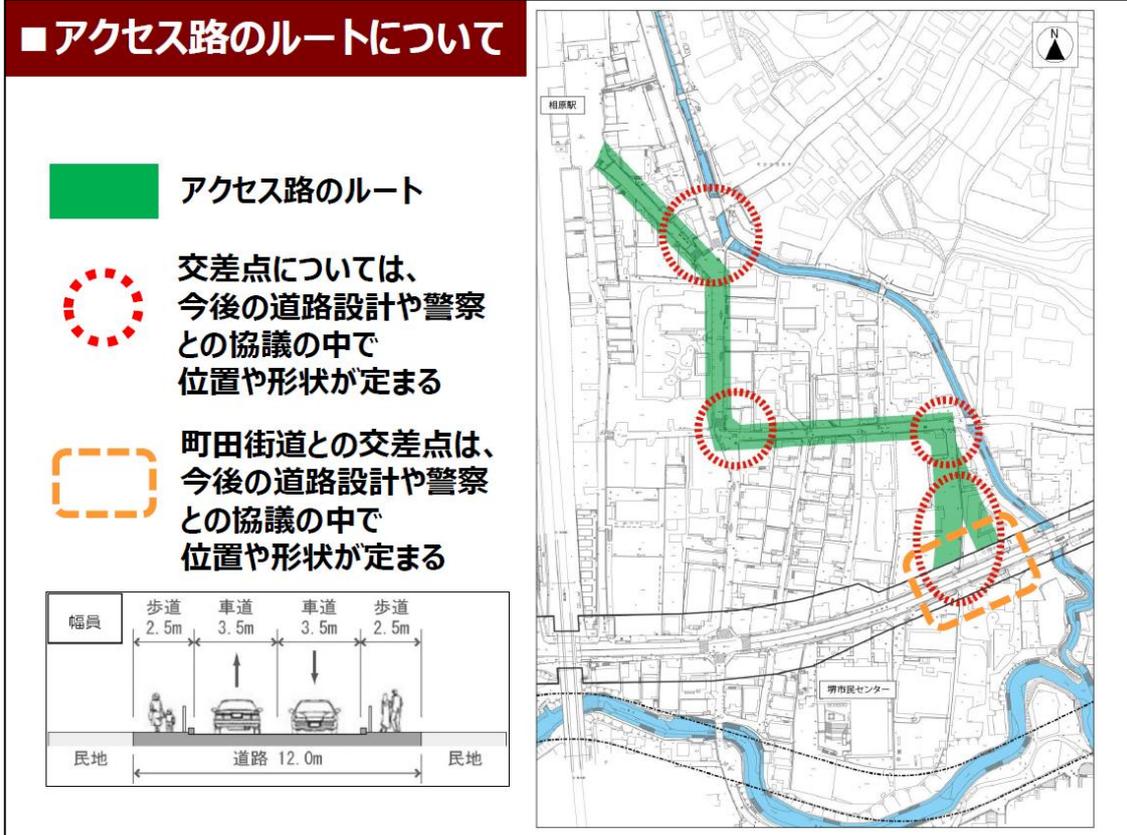
① 東口アクセス路のルートについて

- ・ 現道ルート案で、東口アクセス路の整備を進めていきます。
- ・ 基本的には現道の道路中心から両側へ拡幅させた形で道路設計を進めます。
- ・ 町田街道との交差点部分は新設道路になるため東京都や警察などの関係機関との協議を踏まえた上で決定していきます。
- ・ 各交差点部分については東口アクセス路以外の道路との接続方法など交差点形状の検討が必要であり、今後の道路設計や警察との協議の中で位置や形状が決まっています。

道路線形については、現道の中心から両側へ拡幅していくことを基本としますが、交差点形状やその後のまちづくりのことを踏まえ、片側へ寄せたりすることも出てくることと思います。

現道ルートとした理由としては、「道づくり」ではなく「まちづくり」であるということで、この検討会にて進めてきましたが、まちの将来の土地利用を考えた時に、現道ルートは地区の中央を通るため土地利用が図りやすいことや、町田街道と接続する部分はなるべく横浜線に近い場所で接続させることが望ましいことから、現道ルートとさせていただきます。

道だけを作るのではなく、まちづくりの中での東口アクセス路であると考えております。そのため、アクセス路の整備とともに、東口のまちづくりを進めていきます。



② 今後の進め方

東口アクセス路整備スケジュール（案）

2016年度 道路の概略設計、警察との協議

2017年度 路線測量、道路の詳細な設計、警察との協議

2018年度 沿道地権者の皆様の合意、道路認定

2019年度以降 用地取得、道路整備

町田街道の整備は東京都が実施しており、現在、用地取得を進めていると聞いております。用地取得後に、踏切付近から工事が始まると想定されます。

今回、東口アクセス路のルートを決定させていただきましたが、今後は、東口アクセス路以外の道路網などをはじめとしたまちのルールづくりの検討も進めていきます。具体的には、まちづくりや街並みを整えていく地区計画などや建てることのできる建物用途等を変更する用途地域の変更を検討します。第9回相原駅東口まちづくり検討会（2016年2月10日開催）で、東口のまちづくりの方向性についてお示しさせていただいていますが、今後、皆様とともに検討を進めていきます。

(3) 意見交換

<検討会での主なご意見>

東口アクセス路のルート決定理由について

(意見) 現道ルートを選んだ理由について、再度説明をお願いしたい。

(市の答え) 東口全体のまちづくりを考えた時、今ある道を広げていくことができること、地区内の中心部である南北道路と東西道路を通ること、駅に近い場所であり沿道の土地利用が図られやすいことから、現道を活かした道路整備が良いと選びました。道だけを作り終わるのではなく、まち全体を作っていくためにも、現道ルートが最適であると考えています。

(意見) 住民は、駅の南側だけではなく、陽田など北側や東側にもいる。現道ルートはクランクの道になり走りづらいため、多少曲がっていても駅にストレートに入る川沿いルートの方が素直な道で使いやすく、歩行者も同様ではないか。なぜ現道ルートなのか。

(市の答え) この地区は、道路が狭いなどの課題があり、地区内の道路を広げる必要があります。川沿いルートは線形は良いですが、川側はすぐに斜面地であり大きな土地利用を期待することができず、片側しか土地利用を図ることができません。駅前という特性も踏まえ、今の現道を拡幅し、拡幅した周辺が今後土地利用を図ることができる方が望ましいと考えています。

(意見) 道路を拡幅して欲しいという要望と、東口アクセス路を作ることは異なる内容ではないのか。これを現道ルートを選んだ理由としているのは、少し近視的な考え方でルートを決めており、もう少し長い期間で相原地区全体のことを考えるべきではないかと思う。

川沿いルートについて

(意見) 川沿いルートの場合、当初川の上を通す話があったが、それを止めた理由は何か。

(市の答え) アンケート調査結果でも、川を塞がないようにして欲しいという意見を多くいただいています。また、川を塞いで道路とすることも可能ですが、河川はオープンの形とすること原則であることから、川の横に沿う形でルートの検討を進めてきた経緯があります。

東口アクセス路の幅員について

(意見) 東口アクセス路は当初幅員12mとしていたが、現在計画している幅員は何mなのか。

(市の答え) 12mです。

(意見) 将来的に東口アクセス路が東西南北に延びることがあれば12mは必要かも知れないが、駅と町田街道を結ぶだけの道路で12mは必要か。

(市の答え) 以前の検討会で歩車分離での道路整備を望む意見が出ていました。また、東口アクセス路に位置づけた道路は通学路でもあり、小学校・中学校からの要望もあり、歩道の設置は必要と考えています。駅から先の北側などへの道路拡幅や整備計画については、現在のところ検討していません。

拡幅の方法について

(意見) 現道拡幅は、基本的に中心から均等幅で拡幅するという説明があったが、基本的とはどういうことか。

(市の答え) 基本的には中心から設計を進めていきますが、東口アクセス路以外との道路接続の際にどちらかに寄せることや、中心から振り分けることで残地が狭く住宅を建てることができないような敷地が多く発生してしまう場合は、片側に振り分けるなどの設計を今年度実施いたします。これから道路の設計に入るため、明確な位置は今後お示しさせていただきます。

(意見) 中心から均等幅で拡幅だと今の場所で何とか建設することができると思うが、片側寄せになると、どこかに移転しなければならなくなる。商売はどこへでも移動できるものでもない。お互いに痛みを分け合い、それで良いまちづくりをするのが基本だと思う。片側だけ広げると、片側は犠牲になり、もう片側は何の犠牲もなく道路整備を享受できるような不公平なことはするべきではない。

(市の答え) 残った土地で建てられるようにしたいとは考えていますが、全員がそのようになるかはまだ分からず、今後の設計ではっきりとさせていただきます。十分に配慮して設計を進めさせていただきます。

商業の活性化について

(意見) 駅前の商店は何軒も空いており、また入居しても半年位で出ていってしまう。地元が道路や土地を負担するだけではなく、用途地域等を緩和し、相原へ人やお店を呼び込むことが先ではないか。そのためにも、時間をかけて、人やお店が来るように研究した上で進めていくべきではないか。

(市の答え) 西口では、都市計画道路の整備に併せて地区計画を定めたり、用途地域等も変更し、従前には建てることができなかつたような建物が建ち始めています。

東口についても、商業の話も含めて進めていかなければならないことは市も十分に認識しています。現在、相原まちづくり協議会の力をお借りし、地域と協力しながら「相原にぎわい創生プロジェクト」として相原駅周辺についての検討を市の商業部門で進め始めています。

ここで東口アクセス路を整備し、西口と同様に東口アクセス路沿道や駅周辺で、駅前として土地利用が図られるような検討を今後も進めていきます。

隣地との境界について

(意見) 道路を拡幅する際に、隣地境界はどのように対応するのか。

(市の答え) 土地の境界につきましては、皆様に立ち合いをしていただきながら、境界を決めさせていただきます。

電柱について

(意見) 現在は、電柱は民地に立っているが、道路を拡幅した際はどうか。

(市の答え) 基本的には民地に立てさせていただきたいのですが、土地所有者の承諾も必要となるため、歩道に立てることも考えられます。現段階では電柱をどこに立てることになるか決まっておりません。

(意見) 西口では、都市計画道路で整備された所は電線類の地中化をしているが、今回の東口アクセス路では電線類の地中化は行わないのか。

(市の答え) 現段階では電線類の地中化は考えておらず、地中化に向けた検討は行っておりません。東口アクセス路の歩道幅は2.5mですが、西口の都市計画道路の歩道幅は3m以上と条件も異なります。

東口アクセス路整備のスケジュールについて

(意見) 町田街道との接続場所は、市民センターへのアクセスも考慮すると、現在の仲町子ども広場付近を通るルートが一番良いのではないか。

陽田、仲町、相原団地の人達は、町田街道が広がってもアクセスできなくなるし、町田街道の整備により地区内の商店の多くが無くなってしまふ。そのため、地区内のアクセス路をきちんと整備し、用途地域等も変更し、西口に負けないように東口も一致団結して東口のまちづくりを進めていくべきではないか。

町田街道の工事時期と東口アクセス路の工事時期が重なった場合、地区内で混乱が生じる可能性もあることから、東口アクセス路をできる限り早く整備すべきではないか。

(市の答え) 東口アクセス路の整備は、早く進めた方が良く市は考えています。今回、目安として今後のスケジュールをお示しさせていただいていますが、皆様に対して少しでも早くご理解いただけるように、今後も引き続き丁寧な説明をさせていただくとともに、東京都とも連携しながら、工事スケジュールで皆様への影響がなるべく少なくなるように調整していきたいと思えます。

(意見) 町田街道へのアクセス路は作らなければならないので、町田街道の整備時期と重ならないように、市が示したスケジュールよりも前倒しで進めるべきではないか。アクセス路の整備は、我々が一致団結すればできる話であり、早く進めた方が東口のまちづくりに良いのではないか。

(市の答え) スピード感を持って進めていきたいと考えておりますが、まずは、皆様への説明をきちんとしていきます。それをもって皆様との合意形成を図り進めていきたいと考えています。

(4) 閉会

皆様のご理解、ご協力をもちまして、東口アクセス路の方向性が決まりました。ありがとうございます。今後は整備に向けて、関係機関との協議や道路の設計を進めていきます。引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

以上